

福澤諭吉『学問のすゝめ』再考 『甲南法学』第64巻第3・4号（令和六年三月発行）
正誤表

- 1 頁目次 3 行目・6 頁 2 行目 天は人の上に人を造らずといへり
→ 天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと云へり
- 1 頁目次 5 行目・15 頁 12 行目 天は富貴を人に与へずしてこれを其人の働に与へるものなり
→ 人々自から其身体を自由にするは天道の法則なり
- 2 頁目次 5 行目・42 頁 12 行目 日本は日本人の日本なり
→ 良民の上には良き政府あるの理
- 26 頁 6 行目 経書を読んでも → 経書を読ませても
- 34 頁 6 行目 みられるものも → みられるも
- 46 頁 2 行目 であると思われる → でいると思われる
- 101 頁 22 行目 ならないことであり」、 → ならないことであり、
- 103 頁 18 行目 七四頁 → 七二頁
- 104 頁 23 行目 a Schoolmaster → the Schoolmaster
- 106 頁 20 行目 岩谷三郎 → 岩谷十郎
- 110 頁 13 行目 近世惟思想家文集 → 近世思想家文集
- 116 頁 2 行目 慶應三（一八八七）年 → 慶應三（一八六七）年
- 125 頁 19 行目 注 6 → 注 7
- 127 頁注 153 追加 「保護貿易の利を論じたるは、慶應義塾一派の学生にして彼らはその学塾にありて、ケリーの経済書を習熟して出で来るや、純乎たる保護論者となりて出で来り」と竹越与三郎が記しているので、時代考証を要するが、ケリーの経済書を読んだグループを指すかもしれない（竹越与三郎著／西田毅校注『新日本史』下、岩波文庫、二〇〇五年、一二一頁）。ケリーは農業保護者運動を組織したアメリカ農務省官吏ケリー（Oliver Hudson Kelly、1826-1913）のことである。
- 218 頁『実証政治学大系』の叙述中 → 『実証政治学大系』（一八五一年刊行の第一巻ミル手沢本にはサイドラインやアンダーライン、あるいはチェック、さらには書き込みもあり、ミルの関心の深さが窺われる。オックスフォード大学サマビル学寮図書館蔵）の叙述中
- 219 頁 21 行目 永峰前掲訳 → 「人間性の理想」の永峰の解釈である。永峰前掲訳